

泉源ボーリング 工事を開始

十一月二十五日の午後、幕別温泉ホテル裏で、泉源ボーリング工事の起工式が神式によっておこなわれました。

町では、温泉ホテル周辺に青少年キャンプ場、温水プール、大衆浴場、スキー場などを建設、町民の憩いの場とするため、いろいろな計画をもっていますが、これらの施設には多量な温泉を必要とするため、現在の泉源とは別なところから、これを求めることになり地下資源研究所などの協力を求めて今回のボーリングとなったものです。

巨大な鑿井機に榎木助役がスイッチを入れるや、機械は豪音とともに始動をはじめ、四百五十呎の地下にむかって掘りすすみはじまりました。

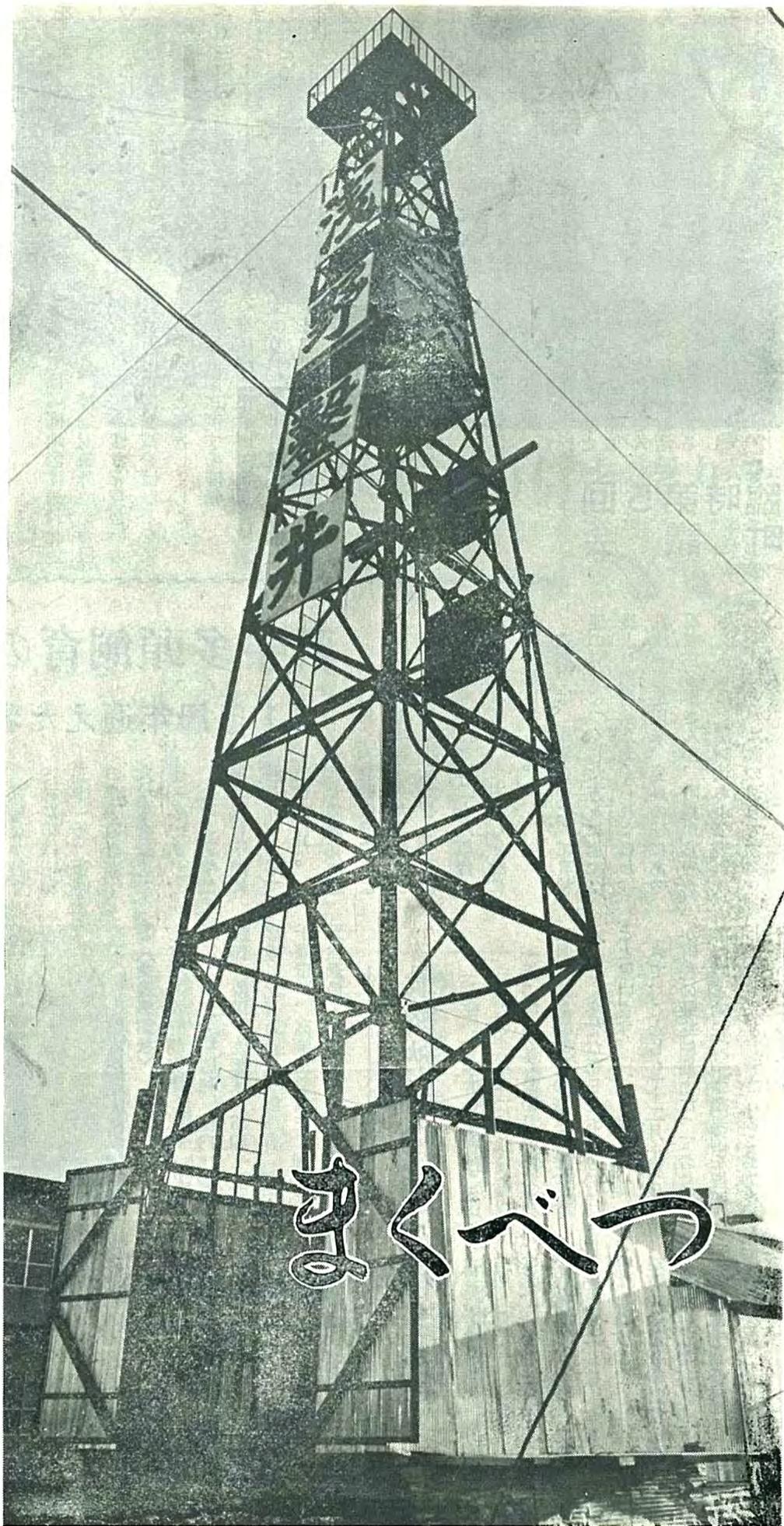
なお、工事は、ことしいっぱい目的地点に達することを怠っていません。

今月号の題字は大橋徳一さん（錦町）に書いていただきました

広報

12

1970



まぐべつ

陳情を継続審議

旭町団地道路六線を町道に認定

臨時第五回町議会が十一月二十六日に町民会館講堂で開かれ議案三件、報告一件、陳情一件をそれぞれ審議しました。決定した内容は次の通りです。

▽帯広市ほか三町村環境衛生施設組合規約の変更について
帯広、幕別、芽室、中札内の

一市三町村で組合を結成していましたが、今回、更別村が加入したため、規約の表題を「帯広市ほか四町村環境衛生施設組合」と変更しました。

▽町道の路線認定について
現在造成工事を実施中の旭町団地に設けられる道路六線を町道に認定しました。道路名は旭町団地道路、六線の延長は四千七百七十・一九尺。

▽昭和四十五年度一般会計歳入歳出補正予算
道農業開発公社貸付牛購入、美川三号橋架換地質調査委託などの理由により三百五十九万八千円を追加しました。この結果昭和四十五年度歳入、歳出予算の総額はそれぞれ九億六千五百

六十三万三千円になりました。

▽常任委員会報告
九月二十九日の定例第三回町議会で建設・水道常任委員会に付託となり、十月二十七日の臨時第四回町議会に中間報告後再付託となった「明倫簡水関係陳情」の調査研究の結果を報告しました。

報告では「同地区は過疎化地域であり、補助対象外である設計費、付帯工事費など見合いの五百万円程度軽減をはかるを妥当とする」と報告しました。

▽都市計画に関する陳情
帯広圏都市計画対策連絡協議会より、新都市計画法で市街化区域、市街化調整区域を定め開発行為などの規制をすることは時期尚早なので、当分の間実施を延期してほしい、と陳情がありました。

町議会では、この問題を全体委員会で継続審議をおこなうことになりました。

町議会は、今後とも町民会館で開催しますが、皆さんが選んだ選良の活躍ぶりを傍聴するよう、おすすめます。傍聴したい方議会事務局にご連絡ください。



乳牛多頭飼育の原動力に 15周年迎えた乳検連合会

幕別町乳牛経済検定組合連合会の創立十五周年記念式典が、十一月二十日午後十時から町民会館で開かれました。

乳検連が設立されたのは昭和三十一年、当時の傘下組合は十九、組合員百三十一名であり、全町の乳牛飼育頭数も千頭に達したばかりでありました。

その後乳検連委員の努力によって組合数も増加、また乳牛も次第に多頭化の傾向をたどり、四十五年十月末現在では二十六組合、二百八十六名という大きな組織に発展いたしました。

式典では、永年にわたって乳検連の発展につくした方々に福家会長より感謝状がおくられたほか、乳検連発足以来、会長の任にある福家左多雄さんが、町長から表彰されました。感謝状および表彰状を受けた方々は次の通りです。



写真は感謝状を受ける方々

〈町長表彰〉
福家左多雄
一戸平均十・七頭

なお、十月末現在、町内の乳牛飼養頭数は六千三百八十頭、一戸平均十・七頭と、待望の大会に乗せ、乳検連創立十五周年記念式典に大きな華を添えました。

〈自衛官募集〉

ことし、本町から自衛隊に入隊した若者は十名（十一月末現在）で、何れも元氣いっぱい活躍しております。入隊希望者は役場企画課自衛隊担当者にご連絡ください

〈会長感謝状〉
途別・牧野朝実津 明倫・松岡正二 新川・棚勝利 糠内・砂田新作 依田・佐藤茂 昭和・生出忠雄 元普及員・平野幸作（在・千歳市）、高瀬正美（在・興部）
元検査員・林源一、山口秀勝

最終納期は「十二月十五日」

町税 幸町など四納税貯蓄組合が完納

一年の締めくくりの月である十二月に入り、町民の皆さんは、なんとなく多忙な毎日をお送りのことと思います。

さて、ことしも「十二月十五日」が町税の最終納期となっており、ただいま納税完納強調運動を展開しております。皆さんのご協力をお願いいたします。

- 旭町二（鎌田義雄組合長） 旭町一（長尾国男組合長） 駒島十（佐藤徳恵組合長） 幸町（亀山義行組合長）



写真説明

出発にあたり、総務課長から「本州農業の良い点、その他をしっかりと見きわめてほしい、そして全員元気に帰町してください」と激励を受けました。

農業人の自信と誇りを

10名の勤労青年

国内研修に出発

幕別の将来を背負う勤労青年を道外に派遣し、生活、文化、教育産業などの視察、調査、研究をおこない、あわせて現地青年との交歓学習などを通じて農業人としての自信と誇りを培わせる、ことを目的に、昭和四十五年度勤労青年国内研修の一行十名が、十一月二十一日に出発しました。

一行は十二月七日までの間、岡山市、阿蘇青年の家、京都、東京を、それぞれ視察し、また

- 青年団体の活動はどのように推進したらよいか
- 地域の発展に青年はどのような役割を果たすか
- 青年の学習活動の内容、方法はどうあるべきか
- 部落づくり、町づくりに果たす青年の役割

について研修するほか、岡山の各農家に分宿し、本州の農業を実際に肌で感じとって行くことになっています。

勤労青年国内研修は、将来とも農業に従事しようとする青年、部落づくり、町づくりの中堅として活躍が期待される者を対象に、去る昭和三十八年から実施し、今回で六回目にあたり、いずれも大きな成果をあげております。

なお、今回参加した青年は次の十名です。カッコ内は役割と出身

地区。

山口隆久(団長・上稲志別)
西田金雄(副団長・相川) 村上高夫(記録・千住) 三好勝幸(記録・西猿別) 松田幸雄(会計・日新) 佐久間啓(総務・明倫)

高木実(会計・軍岡) 高橋千恵子(生活・途別) 西村由美子(生活・明倫) 高橋とき子(総務・途別)

悪書とシンナーの乱用

青少年の成育に影響

有害図書等排除道民運動によって、運動の趣旨が徐々に大きな輪のように広がりをみせてきた反面、秋祭り以後、シンナー遊びが増えてきております。ドギツサを売り物にした週刊誌、月刊誌は成長さかりの青少年には害はあっても益はないと北海道青少年育成推進協議会では、これら悪書とみられる雑誌類の排除を重点道民運動と決め運動を展開、かなりの効果をあげております。

町民の皆さんのうちにも、マユをひそめたくなるような雑誌類をご覧になったことがあろうかと思えます。その時は、その雑誌の誌名、号数有害と思われる箇所を、町役場企画課内の青少年育成指導員にご連絡ください。

また、シンナー類を乱用し警察に補導される青少年が増加しています。年令的には十六歳から十八歳までの者で、この年令も次第に低下の傾向にあります。補導された者のほとんどが興味半分に乱用し、やみつきになったと語っており、しかも、道の統計では、補導した者のうちの六四〇名の保護者が、まったく知らなかった、という結果がでております。親と子の対話がなされていない、ということになるでしょう。

シンナー類の乱用は、青少年の体をむしばんでまいります。もし、乱用を発見したとき、変に陰しだてをせず、警察または青少年育成推進指導員に連絡し適切な対策をたてましょう。

明年1月15日は成人の日。教育委員会では成人になる方を調べたところ男148名、女220名の計368名を確認しました。

明年成人になる方は昭和25年1月16日から26年1月15日まで生れた方です。教育委員会で調べたお名前は次の通りとなっていますが、洩れている方、お名前の違う方は、教育委員会にご連絡ください。

- 〈本町〉 谷口清子 佐藤文昭
津村 洋子 森美保子 大内和憲
大上 光一 藤崎米子 久世妙子
森野紀恵子 荒川和広 上田正徳
岡野久美子 横山 涉 鮎 一郎
八十住一男 武田俊治 高山博美
佐久間剛志 清水伸江
- 〈錦町〉 氏原英治 川尻真知子
野村由紀子 鳴海厚子 加藤笑子
佐藤三枝子 佐古啓二 横川 清
古村まち子 八十島雪子 長谷川
真知子 庄司まち子 大久保裕見
子
- 〈旭町〉 井川敏子 小野勝伸
清水多美子 桜田良成 森 京子
高橋 則子 藤原 治 宮本順子
- 〈新町〉 荒木たず子 石塚 勉
金須 初枝 熊谷松子 渋谷幸子
敷本真知子 高田春男 林 孝夫

男148名・女220名
明年の新成人者
 洩れている方はご連絡ください

- 中田登紀子 山川 薫 山田照子
山崎 道子
- 〈寿町〉 上面光夫 齊 京子
村田さち子 藤崎友子 野田慶子
宮北美和子 津村 治 佐藤喜恵
高橋佐知子 高橋一好 池上慶子
稗田 明美
- 〈宝町〉 有田光法 石山義博
笠間登美子 小野幸江 井上順子
小室 美子 上坂英夫 須藤豊子
寺島のり子 寺田久子 水野哲男
- 〈南町〉 小笠原博子 井手恭子
小野加代子 乙武聖子 梅津賢二
小笠原友子 橋内久枝 柴田孝二
高橋登志美 高橋和夫 細野啓子
- 竹内恵美子 坂東敏江 林 貞夫
晴山 陽子 花江啓二 馬場貞子
和賀 敏子
- 〈緑町〉 原田寿美子 橋本勝男
熊谷 直則 加藤 正 岡本 忠
森脇 正子 今田順子 上野裕司
江口 悦子 岡田裕一 大石孝子
郷司真喜子 湯佐哲雄
- 〈明野〉 大内田英子 今野 勤
中野真知子 晒谷信雄 竹内利曉
石戸谷広美 高井栄一 七島徳雄
国安千代子 宗広敏子 榎木正春
築原由美子 加藤照子 嵯峨孝子
高橋砂知子 橋本明子 宗広直行
谷地田治夫 加藤みどり

- 〈相川〉 奥田美知子 逢坂芳江
近石喜代子 竹内遵一 千葉道子
古川千恵子 宇坂照明 土居恒善
砂田みつる 脇坂義男 浅野律子
松田美代子 坂口政子 渡辺邦男
雨山百合子 渡辺悦子 上野行博
雨山多枝子 村田 明 梅田君子
松井美代子 田中政子 池上範子
松田由紀子
- 〈南郷〉 佐々木明治 鬼頭純子
千葉十三夫 八太友子 古屋芳夫
竹内八重子 藤田 茂 松浦典夫
- 〈新川〉 東野洋子 氏家幸子
氏家 光春 笠間幸一 棚恵美子
〈軍岡〉 寺岡かね代 宮本誠司
谷地田百合子
- 〈猿別〉 遠藤キヌ子 大沢澄子
岡本あつ子 神馬民子 渡辺典子

健康に気をつけ

元気に入学しましょう

町教育委員会で調べた明春入学児は、次の二百三十一名と
なっています。この名簿から洩れている方、または氏名が違
っている方は至急教育委員会にご連絡ください。

幕別小学に入学する者

- 谷地田加代子
八十沼広子 東山明美 伏見克代
富西 俊司 戸田 誠 川下貴也 秋山さとみ 筒淵和江 片山美和
上田 政志 梶田達也 杉野光則 若原ゆみ子 鈴木直佐美
富士道重行 清水洋二 依馬 聡 深松まゆみ
武田 幹朗 笹井栄美 小師 聡

白人小学校に入学する者

- 早瀬 国男 横野正敏 辻 正秀 高王 正二 笹島 治 東出修一
金谷 親楽 笹原敏文 須田正章 鷹見 達也 河野 勉 野村成彦
樋口 貴志 中島聖光 石川 稔 沖田 温隆 小町貴重 畑山靖志
池津 智彦 米谷俊信 渡辺琢生 鈴木健太郎 徳田 司 佐藤一仁
森本 和男 畦内敏朗 鴨井 岳 佐藤 保則 園部昌利 下 真治
永沢 幸二 野田 純 尚和好範 中山 輝彦 藤井雅勝 上石 明
秋山 喜彦 高橋由佳 泉 和紀 村上 智昭 皆川幹夫 井上 護
藤平 訓史 森山雅博 千葉晴紀 川上 浩一 佐藤 司 鎌田理洋
牛尾千佐子 鈴木龍治 森 成弘 川内 裕次 堀 真二 松田辰二
七条圭永子 大串智子 平出文子 宗内 裕次 堀 真二 松田辰二
貴戸ゆかり 佐藤佳恵 猪狩裕子 早苗 光徳 塚本富久 中山昌紀
米山由紀美 沢田邦子 国枝詩香 渡辺 敏之 坂本敏之 菊地裕二
和田ひろみ 上田浩子 山口智子 鈴木 孝司 渡辺文裕
大越ゆかり 西田咲子 平井園子 植津まり子 成田明美 玉手幸子
中上小百合 小幡倫恵 高木啓美 佐藤小百合 前野明美 青木和恵
中川美智子 大西英美 皆川美紀 桜田なおみ 飯沢 恵 外館恵里
大沼しのぶ 嶋 陽美 堀井直美 下野まゆみ 宮崎尚美 山田和美
大橋まゆみ 西山貴子 松下峰子 福井真知子 浅井明美 小林佳代

齊藤千津子 三好勝幸
鈴木かおる 菅原信子 田中雅子

〈大豊〉 小笠原陽子 遠藤克己 杉山恵美子 中野広子 牧野正子

小笠原幸子 折笠久夫 菊地君子 丹羽恵美子 青柳照夫 天野 勉

久保 幸子 志村敬子 菅原澄子 中野恵美子 浦滝優子 河田紀子

中田 和美 吉木和子 土井 実 嘉藤 律子 武田寿子 木田 勇

〈糠内〉 小田桐裕史 福島 薫 喜多 章教 八重柏博 浅井和広

高橋かつ枝 高木 基 森本栄子 熊野 幸子 杉村勇人 田中養一

寺山 博子 藤田芳子 西川美恵 土屋かおる 大場幸男 亀山雄司

飛田 俊一 萩原敏夫 本内 一夫

〈五位〉 園部ハツエ 山本百合 山本 輝子

〈美川〉 佐野ふさ子 小倉和子 入谷澄子 渡部静

杉浦 健児 辻 悦郎 村尾留美子 村尾則行 野村行英

〈明倫〉 吉田美枝子 牧田勝幸 小林真知子 照井博子 千葉光子

六郎田博通 後藤 礼子 後藤雅子 久保茂幸

〈中里〉 杉森正広 藤井信雄 栗生 政美 老松一夫 榎本敏秀

増田とも子 藤井初江 藤井敏雄 中山 和枝 若山映子

〈弘和〉 千葉幹夫 一条 豊 中村 和子 長崎直美

中村 豊利 中村 和子 長崎直美 大地兼友

〈駒島〉 本田登志子 村田敏雄 栗木由美子 角田耕一 亀水文一

山口貴美子 長崎寿子 田原広喜 平田恵美子 栗原 昭 丸尾俊紀

杉山 富子 佐藤信常 植松栄子 嶺敏幸 伏見りつ子 宮田 諭 大寺三男

〈札内市街〉 酒井美恵子 佐藤澄子 角田英二 小松田京子 矢木俊和 瀬戸栄子

小笠原孝子 角田麗子 香川好則 高木 叔敏 尾藤達雄

佐々木光子 天野富子 神戸順子 小野礼子 国見真理

〈新北〉 佐藤 順子 乾 政富 高橋俊則

〈途別〉 高橋千恵子 稲川礼子

佐藤 順子 乾 政富 高橋俊則

廣川 喜敬 牧野通幸 山内友子

和田 松男 小川砂知子 久保和子 池野順子

〈古舞〉 大島登志子 宇野絹子

合田 光広 白川勝義 中村照昭

速水美津子 萩原敬子 牧野保博

松田 英雄

川上ゆかり 佐藤智子 島山智子 上田 勝人

大西 実法 馬淵弘美 岡本智美 大豊小学校に入学する者

和田 千都 藤原紀子 石丸一枝 宮北 充博 桜井 俊和

久保田貴子 佐藤静恵 谷口幸子 豊岡小学校に入学する者

池田季理子 松峰茂子 遠藤明美 青木 義彰

二川さゆり 小野寿恵 相川寿重 駒島小学校に入学する者

小川由美子 鈴木裕子 藤原淳子 小山めぐみ 加賀啓光 佐藤雅典

千葉真由美 山口和枝 木村 好 西尾 昭子 池田和美 勝山美香

米田よし子 片倉裕美 矢野貴子 永嶋 哲雄 長崎克己 新田裕美

渡辺美和子 成田恵美 細川和子 弘和小学校に入学する者

加藤はるみ 野々村ともえ 篠島いずみ 上鹿渡由美子 高田まゆみ 齊藤 篤志

新川小学校に入学する者

山田久美子 進藤信行 棚 範貴 佐藤美佐代 田村勝徳 本保弘美

西猿別小学校に入学する者

梅田ともえ 松島智範 三井真実 伊藤作治郎 佐久間さとみ 砂田

新和小学校に入学する者

妹尾美紀子 末吉 薫 服部政雄 みつえ 寺林智行 鳥毛昭士

横山 博一 矢部俊和 明倫小学校に入学する者

田村あゆみ 里沼寿光 亀井優子

大島 克宣

糠内小学校に入学する者

田村 里和 福島詔子 鈴木明美 角田久美子 鈴木好子 白木裕一

今江 裕美 今江敏裕 館 昌志 石野真由美 鍵原和幸 楠木隆人

山田さつき 平井善行 山本智治 藤川ひとみ 松浦郁子

山田加代子 橋本哲浩 林 靖智

中田 雅章

古舞小学校に入学する者

小川 恵子 大西和恵 佐伯玲子

高橋 博志 速水広美 前田義隆

塚本加津子 草森伸一 渡辺清隆

相川小学校に入学する者

松田 英雄

で悩んでいる方へ

人権問題で悩んでいる方や法律上の問題で困っている方は、

人権擁護委員にご相談ください。

角田 政平 藤 平 清志

春以来、町内各地で、めていました各種の工事はほとんど終りました。ことし実施した工事は別表の通りで、何れも住みよい幕別町とするために実施されたものです。以下は、完成をみた、そのうちの幾つかを、ご紹介いたします。

千住十二号永久橋も完成

百五十万円の工事費がかかりました。数が参加して落成式を開催しました。

を建設するなど、町の住宅行政は着々と進展をみせております。明倫地区農免農道 去る四十二年から三か年継続で工事が進められていましたが、本年は最後のコース、明倫高台から厳橋までの二千六百六十一坪を、三千九百九十九万円の予算で実施し、十一月十三日に完成しました。この結果、古舞から糠内までの七千七百四十四坪が、すばらしい道路になりました。

ことし実施した工事

- ▽糠内消防庁舎建設
- ▽交通信号機設置
- ▽新和へき地集会場建設
- ▽町有林造成
- ▽町宮牧場草地造成
- ▽公営住宅建設
- ▽特別公営住宅建設
- ▽分譲住宅建設
- ▽若菜川都市下水路
- ▽止若札内線歩道舗装
- ▽札内停車場線歩道舗装
- ▽幕別大通り道路改良
- ▽幕別南二丁目道路改良
- ▽春日・あかしや公園整備
- ▽春日団地測溝整備
- ▽日新道路改良
- ▽吐月橋架替
- ▽美川農道整備
- ▽豊岡農道整備
- ▽千住十二号永久橋架替
- ▽白人小増築
- ▽へき地教員住宅新築
- ▽古舞・愛国線道路改良
- ▽幕別保育所増築
- ▽稲志別線管渠工事
- ▽宝町下水路整備
- ▽職員住宅新築
- ▽明倫簡水新設
- ▽日新簡水配水池築造
- ▽農免道路新設
- ▽駒畠更別線改良
- ▽札内スキー場新設工事

歩道の舗装

札内地区で歩道の舗装二件が完成し、地区の方々から喜びられています。完成した舗装は、道々札内停車場線、すなわち札内駅前から十字路までの間の両側を舗装しました。今後、ドロンドロ道になる心配はありません。

もう一件の舗装は町道止若・札内線の歩道。これは役場札内支所付近から春日団地にむかう道路で向って左側に巾一・七二坪、延長六百二十八坪を舗装いたしました

千住十二号永久橋

昨年から二カ年計画で工事をすすめていましたが、ことしは上部工と取付道路の工事をおこない。十一月三十日に完成しました。この橋の延長は九十・二〇坪、巾員六坪という立派なもので、上部工だけで三千六



長大橋に生れかわった厳橋



札内駅前の歩道舗装



春日団地にむけ実施された歩道の舗装

新和へき地集会場 去る五月から着手し、このほど完成をみた新和へき地集会場の総面積は百四十二平方坪、内部は集会室一、和室二、調理室からなっている。建物はモルタル造り平屋建で、新和地区の集會、季節保育その他多角的に利用されることでしょう。

公営住宅 旭町団地に平屋建の公営住宅八戸と平屋建特別公営住宅八戸の計十六戸を建設したほかあかしや団地には二階建の公営住宅十二戸、平屋建八戸の計二十戸を建てました。

厳橋の延長 糠内川の改修によって堤防が設けられたことと、明倫地区農免農道工事の実施から、



永久橋に生れかわった千住12号橋



→明倫農免農道

完成した新和へき地集会場↓



町では幕別温泉ホテルの近くでただいま町営スキー場を建設しています。工事は自衛隊に整地作業をお願いしたほか、トンガリ屋根のヒュッテ、三十五級級のジャンプ台の工事

も、本格的な降雪の前に完成するべく、急ピッチで進められています。下の写真は寒風の中で整地作業をすすめる自衛隊。



十分な車間距離と安全速度

道路の悪条件から事故が急増

積雪、凍結、融雪などによる道路の悪条件により冬季間には交通事故が急増しておりますが、これら事故も、ちょっとした注意によって半減させることが出来ます。

交通安全道民運動推進委員会では明年二月二十八日までの間、

- 〈スリップ事故をなくする〉
- 〈冬の道路を広くする〉
- 〈飲酒運転を追放する〉

を道民運動として展開しております。

す。町民の皆さんも、悲惨な事故を起さぬよう、くれぐれもご注意ください。

■スリップ事故をなくする。

まず、スベリ止め装置を点検し不備なところは整備しましょう。冬の事故で最も多いのはスリップによる追突と接触、十分な車間距離と安全速度を励行しましょう。

車を運転するときは砂袋、スコップなどを用意してほしいもので

す。

■冬の道路を広くする

家の周りの雪を排雪するともに、道路・歩道に障害物を置かないようにしましょう。

冬は、積雪のため車を置く場所が少なくなります。自家用自動車の通勤時使用は、つとめて自粛し

ましょう。

■飲酒運転を追放する

運転しようとする者、または運転中の者には絶対に酒類を飲ませないようにしましょう。いっぱいぐらいいは……と酒をすすめる者がいますが、酒を飲ませた者も処罰されることがあります。

火の元にご注意ください

本町では、ただいま無火災をつづけております。もし火災が発生しますと大切な財産が煙と消えるばかりでなく、人命さえ失うこととなります。火の元には十分に注意しましょう

酒酔い運転は死亡事故につながります。年末・年始で酒を飲むときは、車を運転していけないようにしましょう。

篤志寄付者のお名前

◇札内春日の池浦光男さんは、お母さんの死亡とお父さんの三年忌にあたり、恵まれない方々に使ってくださいと、金五万円を町社会福祉協議会に寄付しました。

◇本町の石田勇さんは、住みなれた幕別を離れるにあたって、町社会福祉協議会に金五万円を寄付しました。

創立十周年を祝う

身障者協十勝
支部幕別分会

北海道身体障害者協会十勝支部
幕別分会の創立十周年記念式が、
十一月十八日に幕別温泉ホテルで
開かれました。

も心の寄りどころとして大事に育
ててまいりたいという言葉に盛ん
な拍手がおくられました。

なお、席上、次の方々が町長お
よび分会長より表彰されました。

■町長表彰

橋本俊光(五位)、川尻実(錦
町)、三浦卯一郎(札内)、杉本
秀吉、菊枝(途別)

知らない損をする ①

昭和四十四年十月に総理府が
発表したところによると、交通
事故だけがをした人のうち健康
保険で治療を受けた人は三二・
五%となっています。

これは、保険で治療を受けら
れるということを知らない人も

国民健康保険 (9)

多いということ、また
保険で治療をすること
をきらい医者もいて、
そのために自費で治療
を受ける人もいるとい
う理由によるものと考
えられています。

健康保険は治療費が
かかりすぎて生活が困
るとなるわけです。

■分会長表彰

米山英夫、嵯峨山潔(本町)、
大野甚八(途別)、佐藤昌嗣(古
舞)若山亀太郎(札内)、桜井鶴
雄(途別)。



新しい郵便貯金のマークです

海外旅行会で会員募集

郵便局の簡保海外旅行会では、
ただいま会員を募集しております
コースは世界一周、ヨーロッパ一
周、アメリカ一周、ハワイ、東南
アジアで、積立の中途でも旅行す
ることが出来ます。ご希望の方は
郵便局におたずねください。

年賀状はお早めに

年賀状の取り扱いは十二月十五
日からです。日曜日には家族そろ
って年賀状を書き、おそくとも二
十二日までにお出しくください。

あて名に郵便番号を

あて名と、あなたの住所にも郵
便番号を書きましょう。年末、年

幕別植物愛好会

幕別植物愛好会は、すべての
植物を愛し、自然を尊び会員相
互において植物に対
する観賞眼を高め、
かつ会員相互の親睦
をはかることを目的
に、去る昭和三十八
年四月に結成しまし
た。

幕別町文化協会 加盟団体を紹介

あけています。
また、愛好会の最大の行事は
十月の盆栽展示会と十一月の菊
花展示会。珍しい盆栽、菊花
類が町民会館狭しと展
示され、多くの人々を
楽しませ、開町記念日
公民館まつりに欠かせ
ない存在となっています。

(2) 現在、会員は三十二
名、役員は会長のほか
副会長二名、会計、書

記各一名、幹事若干名で構成し、
会の運営にあたっています。

なお、会長は一宮龍熊さんで
すが、入会その他くわしい話は
土田勝美さんにご連絡くださ
い。

新しい郵便貯金マーク

郵政省では、このほど新しい
「郵便貯金マーク」を決定しまし
た。このマークは郵政省のマーク
と貯蓄のもつ繁栄成長の意味を草
木の茂りに象徴して組み合わせた
もので、今後、郵便貯金ポスター
チラシなどの印刷物や貯金通帳、
証書などに使用いたします。

